

『海の月間』について

「海の日」を広く理解していただくための取組

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定されました。この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地において多彩な行事が展開されています。

当局においても「2014那覇観光キャンペーンリーダーによる一日船長」「海事関係功労者表彰式」を実施しました。

2014 那覇観光キャンペーン レディーによる一日船長

7月14日(月)、那覇〜渡名喜〜久米島航路の運航する「フェリー琉球」の一日船長として、那覇観光キャンペーンレディーの知念里乃ちねんりのさんを任命し、船内の点検・巡視を行いました。知念さんは、「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に



一日船長による船内の点検・視察



努めていただき、明日を担うシーマンとして頑張つて下さい。」と、船員や関係者に向けて激励のメッセージを送りました。

海事関係功労者表彰式

7月25日(金)に那覇市内のホテルで開催し、港湾関係事業、優良船員等28名を表彰しました。また、同式典において「中学生海の絵画コンクール沖縄地方展」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局長賞(金賞)受賞の大城綾花おおしろりょうかさんを始め、10名の中学生を表彰しました。



表彰状を受けとる大城綾花さん



大城綾花さんの作品(金賞受賞)



表彰式典の様子

